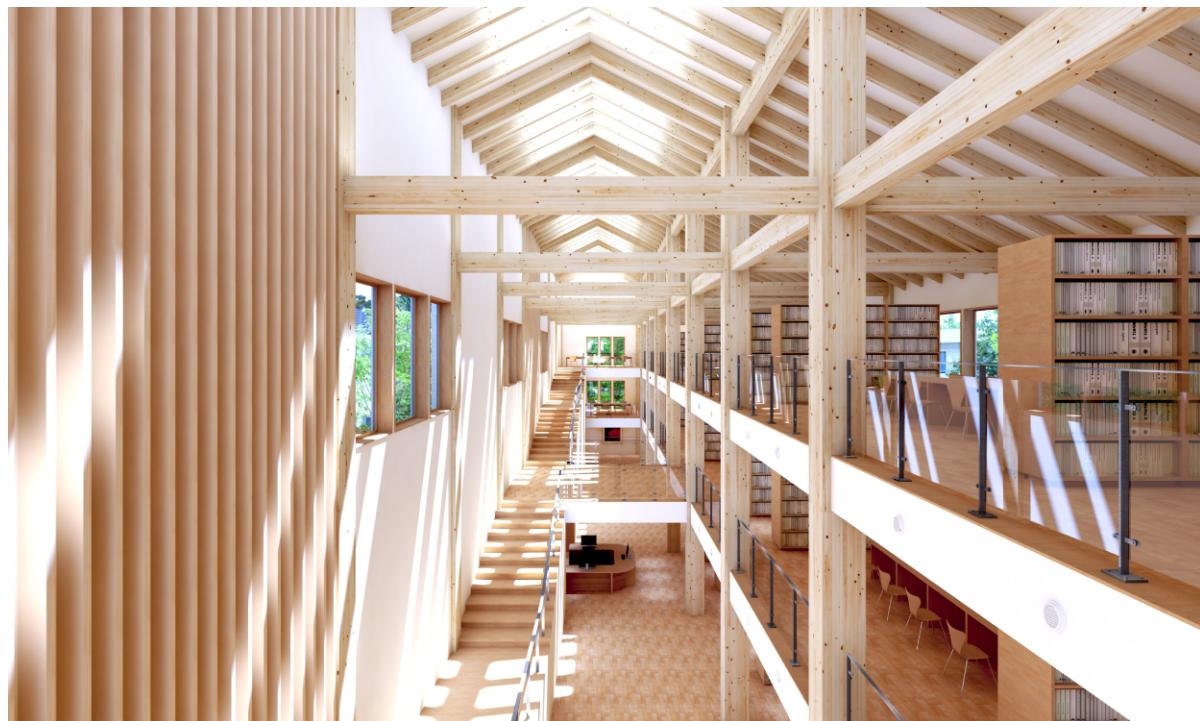


Walkin home 2020 Plus

ウォークインホーム・プラス

操作マニュアル

図面編集編



テクニカルサポート

TEL:050-5515-2347 mail:support@anshin.co.jp

営業時間：月曜～土曜日の午前9:00～午後8:00迄（日祝日および弊社指定休日を除く）

安心計画株式会社

本社 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-22-8 朝日生命博多駅前ビル8F TEL:092-475-1751 FAX:092-413-6378

URL : <http://www.anshin.co.jp/>

改 版 履 歷

目 次

Walk in home	1
1. 伏図アプリケーション	4
1-1. 出力方法	4
2. 図面用レイヤ制御（グループ・レイヤ）	6
2-1. ボタンの状態と下書きの表示	6
2-2. グループ・レイヤの表示・非表示方法	7
3. 設計図書出力	11
3-1. 出力方法	11
4. 図面作成機能	14
4-1. 図面作成（一括）機能・出力方法	14
4-2. 図面一覧（作成済）機能	17
4-2-1. 出力方法	17
4-2-2. タブに図面を追加	18
4-3. 図面レイアウト機能	20
4-3-1. 出力方法・使用例	20
4-3-2. Walk in home18 の注記レイヤのコンバート	22
5. 図面拡張機能	24
5-1. 拡張ポップアップ	24
5-1-1. 表示設定方法	24
5-1-2. カスタマイズ方法	26
5-2. 図面編集用の入力ツールバー	28
5-3. 背景色の選択・グリッド線表示	28
5-3-1. 背景色の選択方法	28
5-3-2. グリッド線表示・非表示方法	32
5-4. 図面作成（部分）機能	33

1. 伏図アプリケーション（現状エラーで出力できない）

★メニュー（出力方法が変わったので）と基礎伏図はキャプチャの張替えなどが必要だが、そのほかの機能に関しては、WIH18 のままで OK。改版履歴の「追加」に「2019/9/30 追加」と記載

★メニューはアプリ内なので、キャプチャ等は 9/17 以降で（モジュールが更新されるかも？）

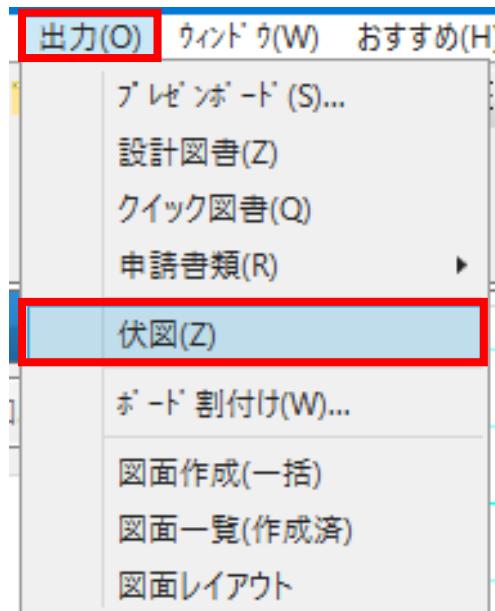
1-1. 出力方法

【出力フロー】



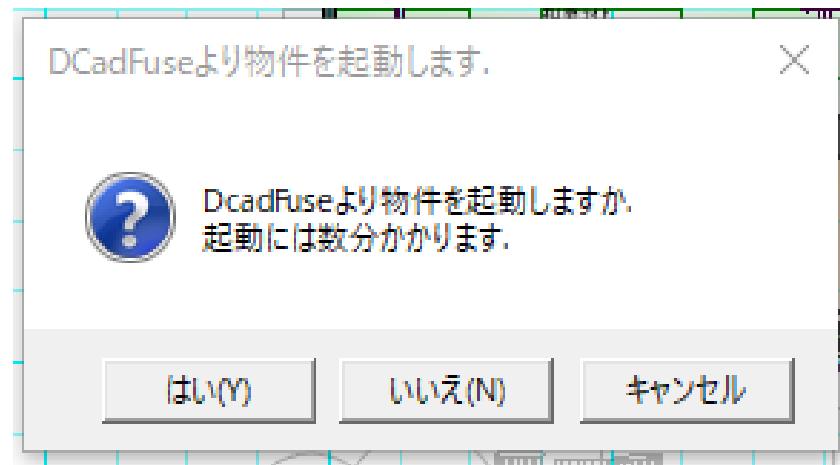
- ① 「出力」タブ
- ② タブ内「伏図」
- ③ 表示されたウィンドウの「はい」
- ④ 出力完了

【手順詳細】



- ① 「出力」タブを開いてください。
- ② 「伏図」を押下してください。

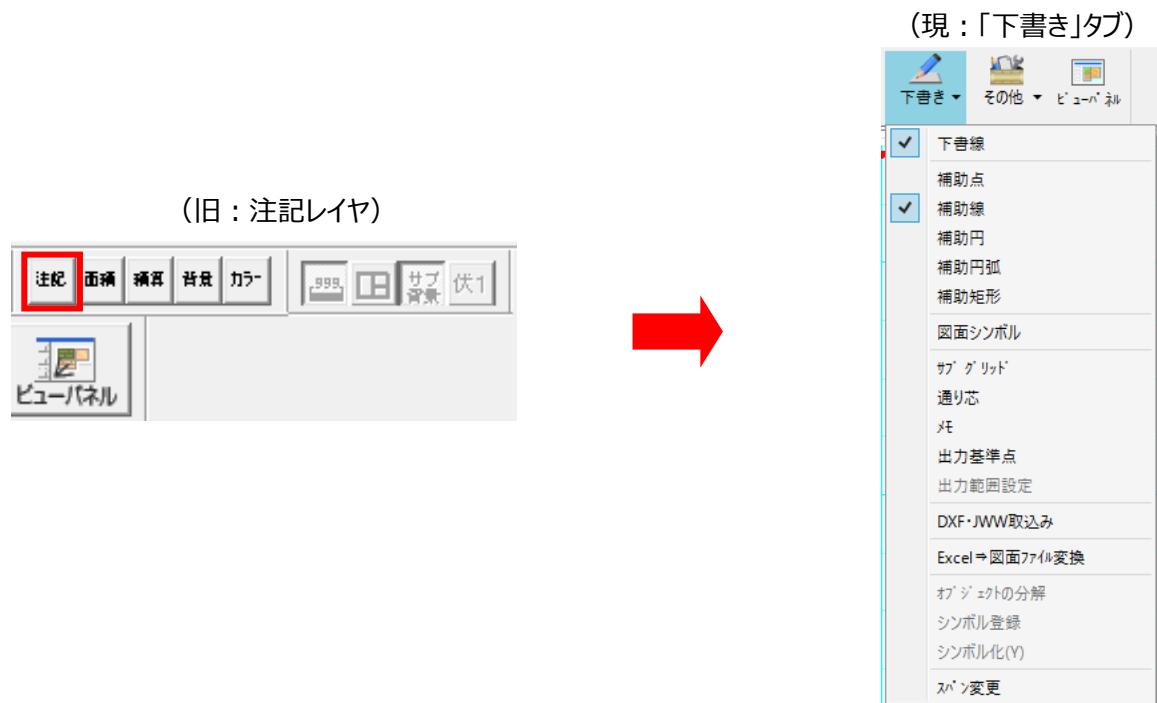
- ① 下記の「DCadFuse より物件を起動します.」ウィンドウの「はい」ボタンを押下してください。
(ウィンドウ変更有)



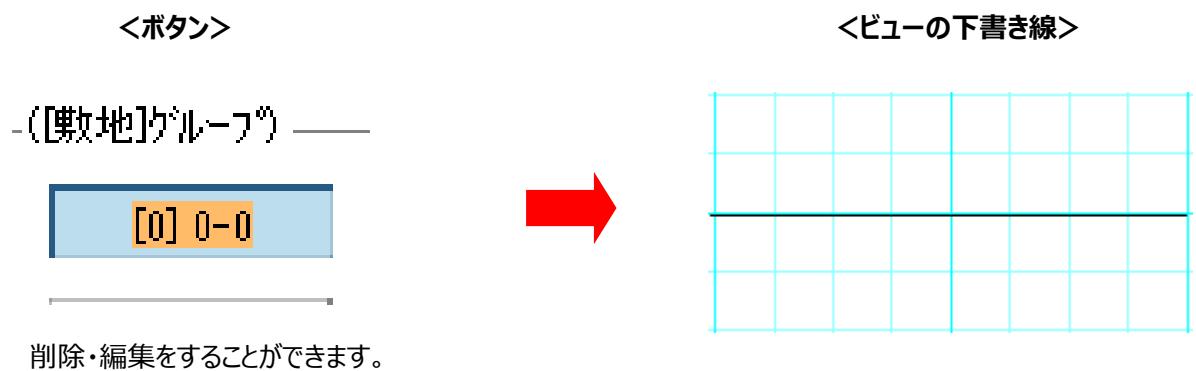
- ② 別アプリケーションにて、物件の伏図が出力されます。

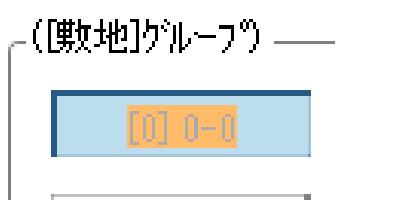
2. 図面用レイヤ制御（グループ・レイヤ）

従来の「注記レイヤ」（赤枠内）機能が無くなり、「下書き」タブに機能がまとめられました。

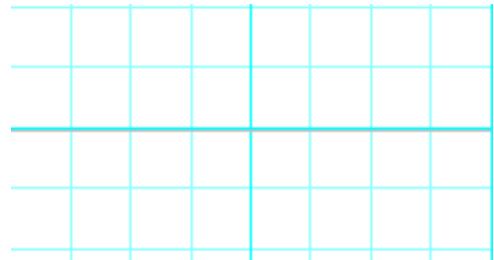


2-1. ボタンの状態と下書きの表示





削除・編集をすることはできませんが
下書きは表示されたままで。



(薄いグレーの線が表示されています。)



下書きを隠すことができます。



ビューに表示されない

2-2. グループ・レイヤの表示・非表示方法

【設定フロー】

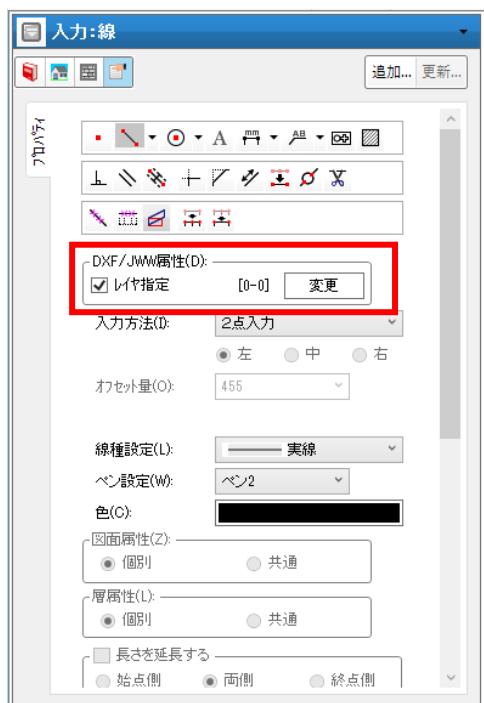
- ① 「下書き」タブ
- ② タブ内「下書き線」・「補助線」・「補助円」・「補助円弧」・「補助矩形」・「図面シンボル」のいずれかを選択
- ③ 「レイヤ指定」にチェック
- ④ チェック右横の「変更」
- ⑤ レイヤを選択
- ⑥ ビューに入力
- ⑦ 「レイヤ」アイコンからダイアログ表示
- ⑧ 表示・非表示したいレイヤを選択
- ⑨ 状態が変化



【例：道路の線を入力し、表示・表示にする】



- ① 「下書き」タブを開き、「下書き線」を押下します。
(この時、「補助線」も自動的に選択されます。)
※「下書き線」を選択すると線種が実線になり、「補助線」を選択すると
線種も補助線（点線）になります。



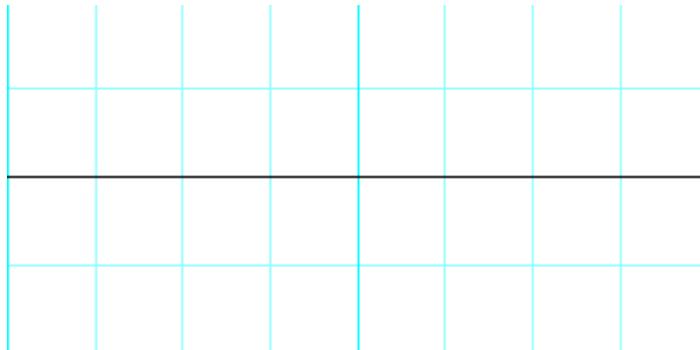
- ② 左側に「入力:線」プロパティが表示されたら、
「DXF/JWW 属性」内の「レイヤ指定」にチェックをします。
- ③ チェックすると、「変更」ボタンが押せるようになるので、
押下します。

④ 「レイヤ設定」ダイアログが表示されるので、道路の線を入力するために、「[2]道路」ボタンを押下します。



⑤ 「OK」ボタンを押下すると、「レイヤ設定」ダイアログが消えます。

⑥ ビューの表示したい位置に線を入力します。



- ⑦ ツールバーにある「レイヤ」アイコン  を押下すると、「レイヤ表示／非表示設定」ダイアログが表示されます。
- ⑧ 既にビューに入力したレイヤはオレンジ色に塗り潰されています。⑥で入力した道路の線を表示・非表示にするには、「[2]道路」ボタンを押下します。



- ⑨ ボタンと線が3通りの状態に変化します。
※状態に関しては2-1の【ボタンの状態と下書き線の表示】をご確認ください。

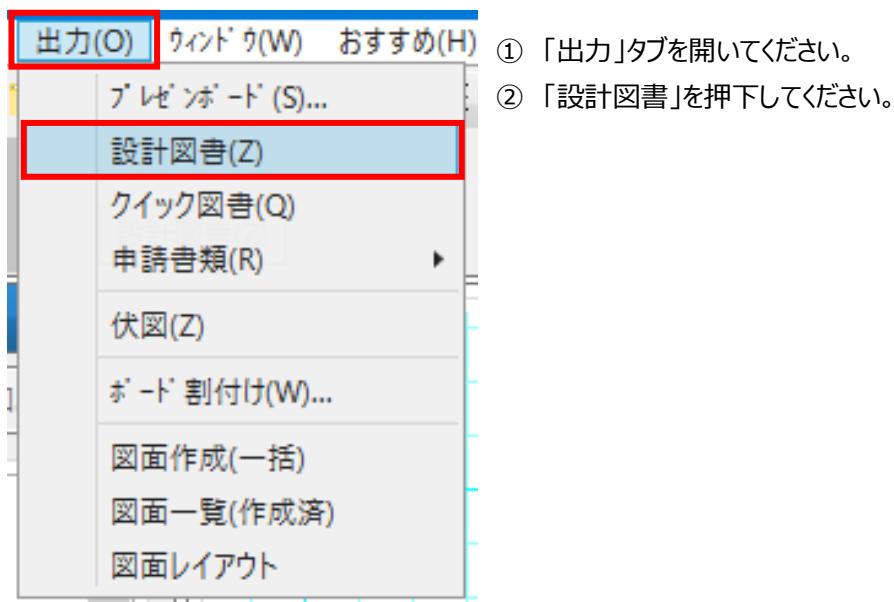
3. 設計図書出力

3-1. 出力方法

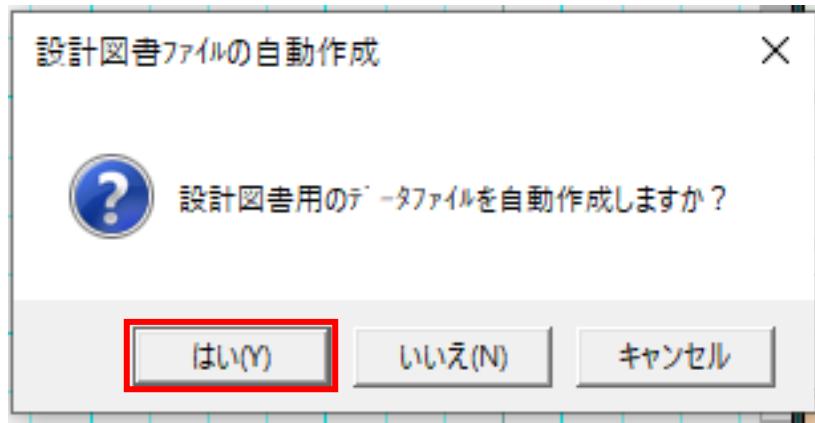
【出力フロー】

- ① 「出力」タブ
- ② タブ内「設計図書」
- ③ 表示されたウィンドウの「はい」
- ④ ダイアログ設定後、「OK」
- ⑤ 表示されたウィンドウの「はい」
- ⑥ テンプレート選択
- ⑦ 出力完了

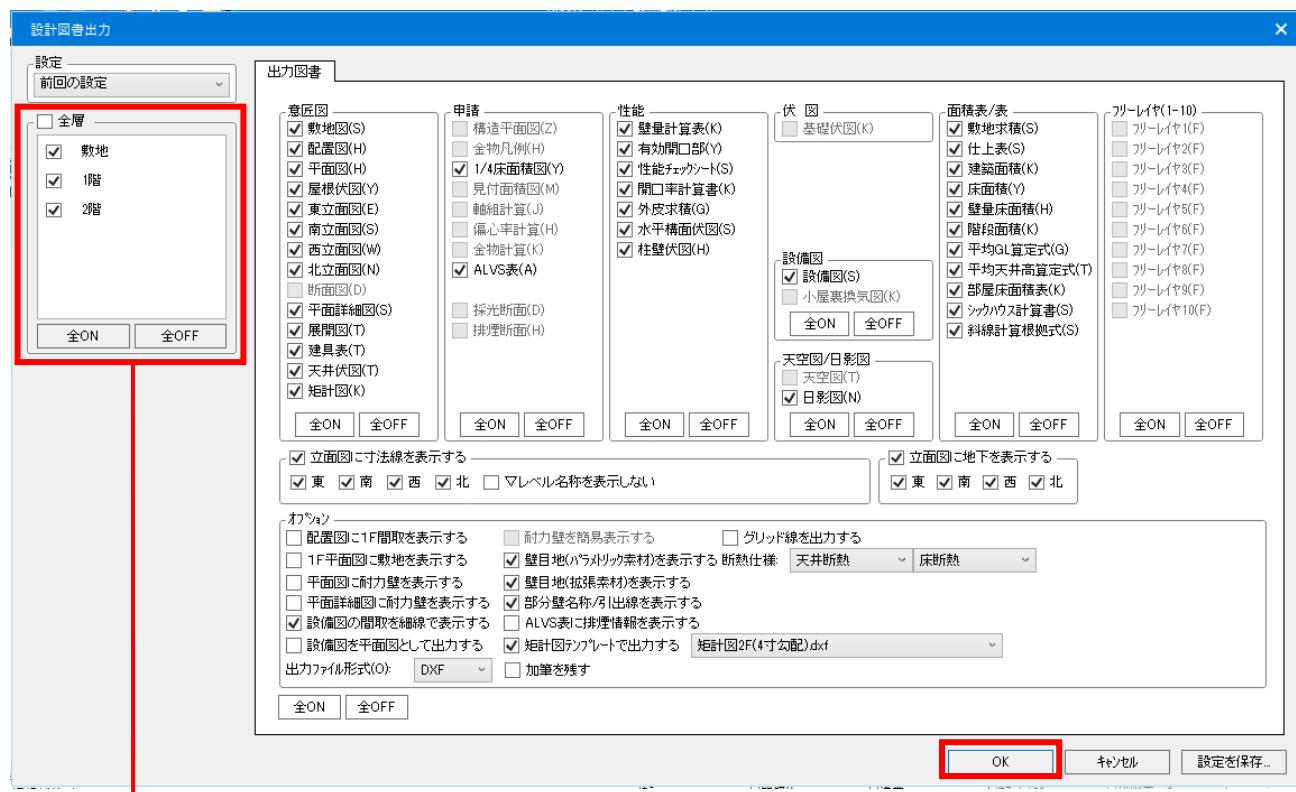
【手順詳細】



① 「設計図書ファイルの自動作成」ウィンドウの「はい」ボタンを押下してください。

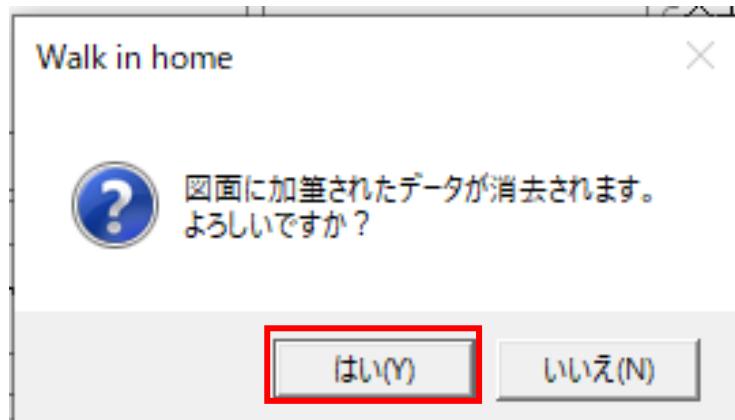


② 「設計図書出力」ダイアログが表示されますので、設定後、「OK」を押下してください。

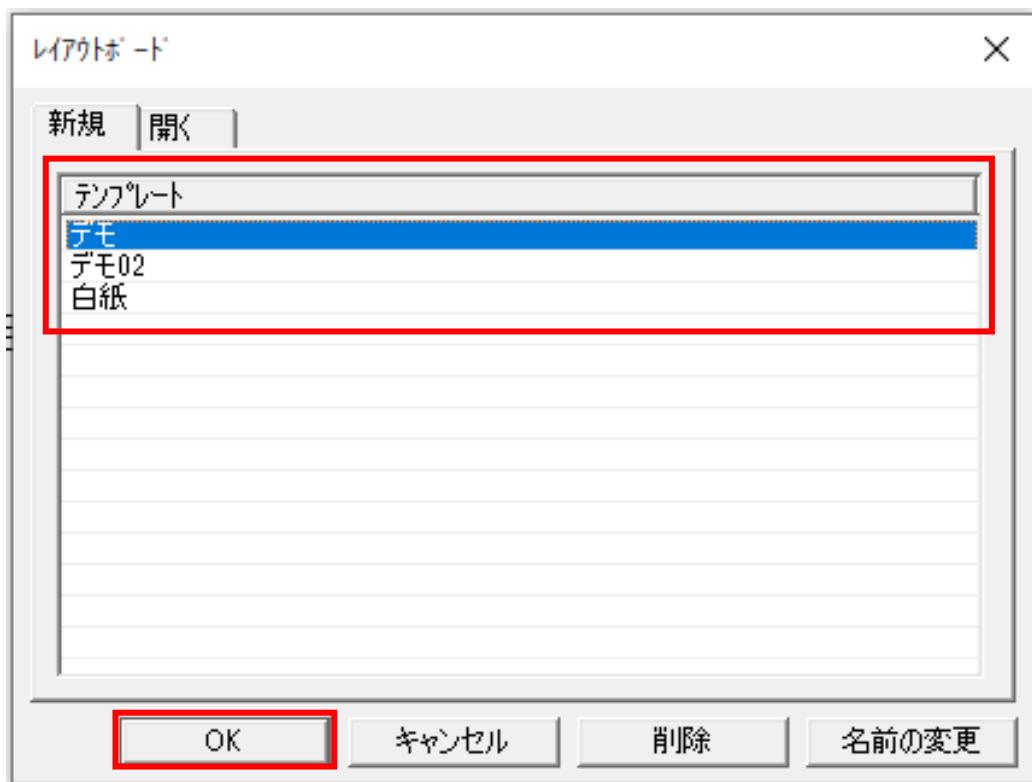


階層ごとの設定することができます。

③ ウィンドウが表示されますので、問題が無ければ「はい」ボタンを押下してください。



④ 「レイアウトボード」ウィンドウが表示されたら、テンプレートを選択し、「OK」ボタンを押下してください。



⑤ 別アプリケーションにて、⑥で選択したテンプレートに則った設計図書が出力されます。

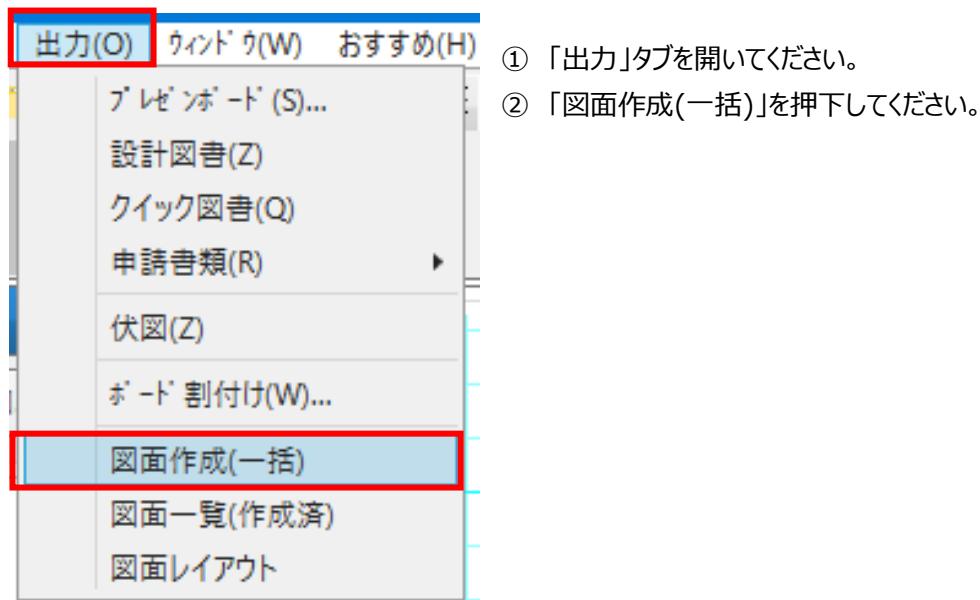
4. 図面作成機能

4-1. 図面作成(一括) 機能・出力方法

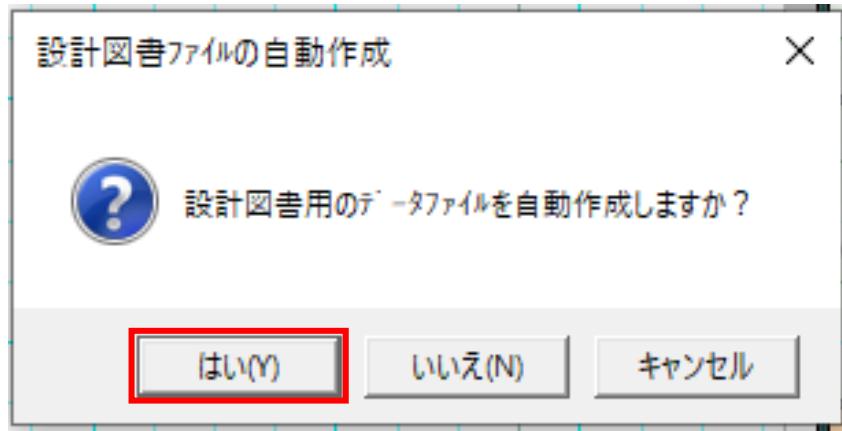
【出力フロー】

- ① 「出力」タブ
- ② タブ内「図面作成(一括)」
- ③ 表示されたウィンドウの「はい」
- ④ ダイアログ設定後、「OK」
- ⑤ 表示されたウィンドウの「はい」
- ⑥ 図面一覧表示
- ⑦ 図面を選択し、「選択図面を開く」押下で出力完了

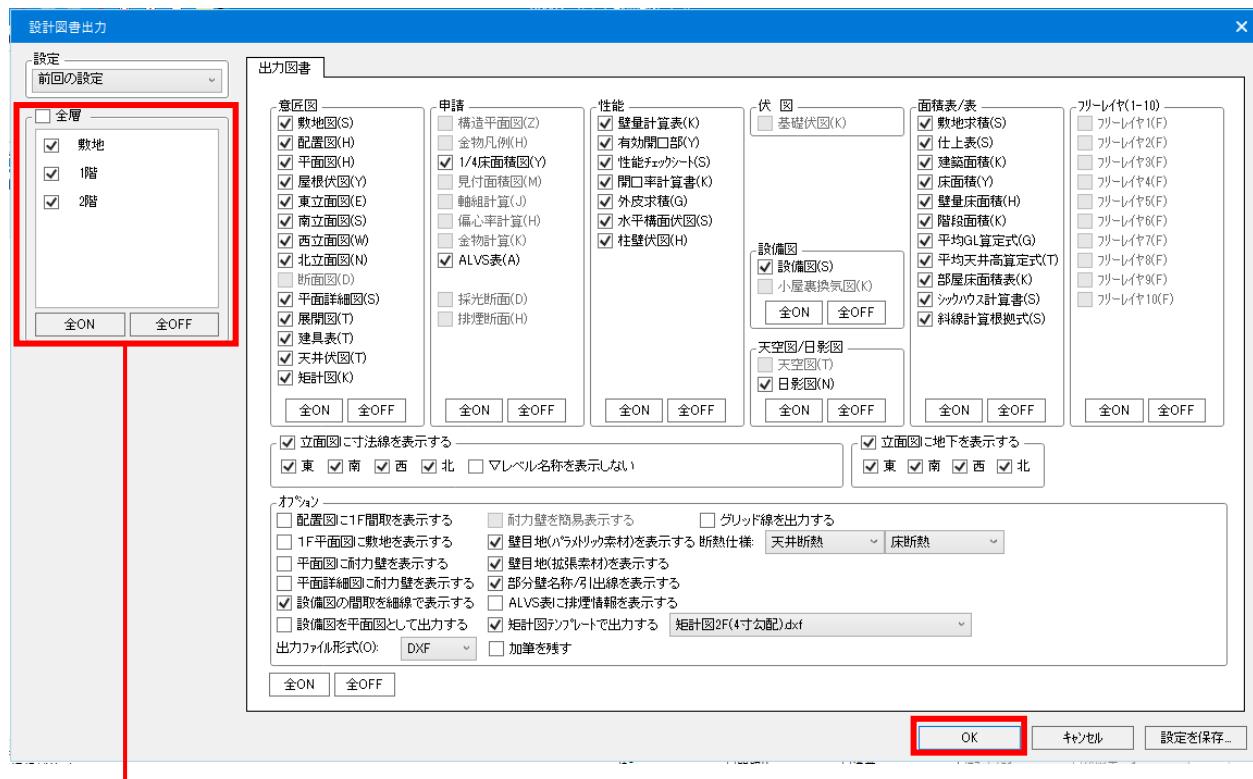
【手順詳細】



① 「設計図書ファイルの自動作成」ウィンドウの「はい」ボタンを押下してください。

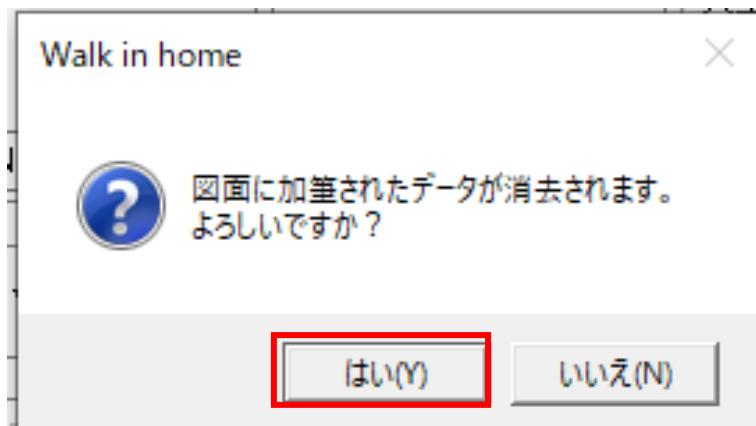


② 「設計図書出力」ダイアログが表示されますので、設定後、「OK」を押下してください。



階層ごとの設定をすることできます。

③ ウィンドウが表示されますので、問題が無ければ「はい」ボタンを押下してください。



④ 作成した図面の一覧が表示されます。

図面一覧(作成済)				
No	グループ	図面タイプ	図面名称	作成・更新日時
1	意匠図	配置図	配置図	2019/09/06 04:21
2	意匠図	平面図	1階平面図	2019/09/06 04:21
3	意匠図	平面図	2階平面図	2019/09/06 04:21
4	意匠図	平面詳細図	1階平面詳細図	2019/09/06 04:21
5	意匠図	平面詳細図	2階平面詳細図	2019/09/06 04:21
6	設備図	給排水/ガス	1階給排水／ガス設備図	2019/09/06 04:21
7	設備図	給排水/ガス	2階給排水／ガス設備図	2019/09/06 04:21
8	設備図	電気	1階電気設備図	2019/09/06 04:21
9	設備図	電気	2階電気設備図	2019/09/06 04:21
10	設備図	換気	1階換気設備図	2019/09/06 04:21
11	設備図	換気	2階換気設備図	2019/09/06 04:21
12	意匠図	天井伏図	1階天井伏図	2019/09/06 04:21
13	意匠図	天井伏図	2階天井伏図	2019/09/06 04:21
14	意匠図	東立面図	東側立面図	2019/09/06 04:21
15	意匠図	南立面図	南側立面図	2019/09/06 04:21

「選択図面を開く」ボタンと「閉じる」ボタンがあります。

「プラン変更日時」と「作成・更新日時」を比較することで、データの差異を確認することができます。

⑤ 出力したい図面を選択し、「選択図面を開く」ボタンを押下すると、出力されます。

4-2. 図面一覧（作成済）機能

作成した図面を開き、編集を加えることができます。

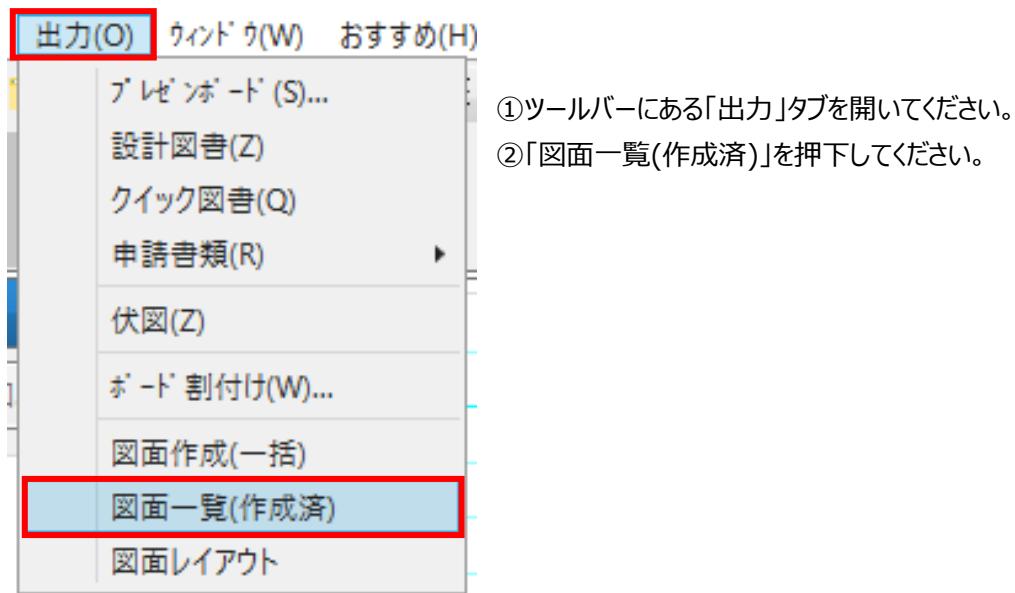
4-2-1. 出力方法

【出力フロー】

- ①「出力」タブ
- ②タブ内「図面一覧(作成済)」
- ③図面一覧表示
- ④図面を選択し、「選択図面を開く」押下で出力完了

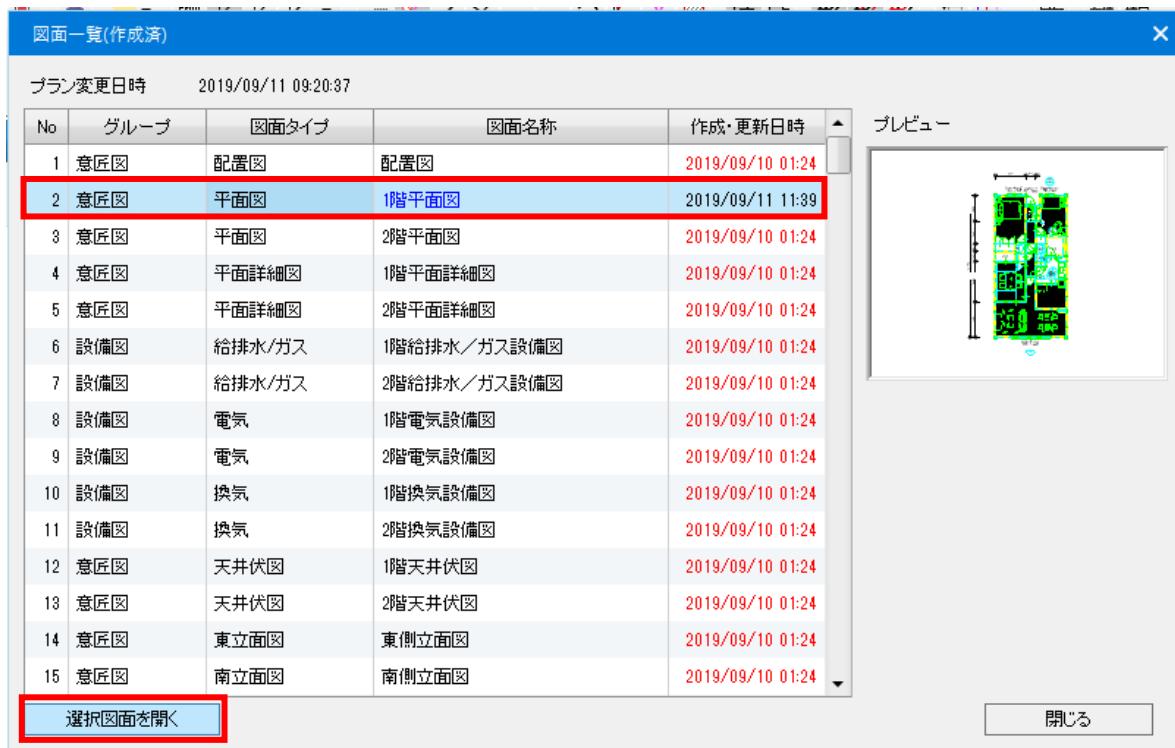


【手順詳細】



③作成した図面の一覧が表示されます。

④出力したい図面を選択し、「選択図面を開く」ボタンを押下すると、出力されます。

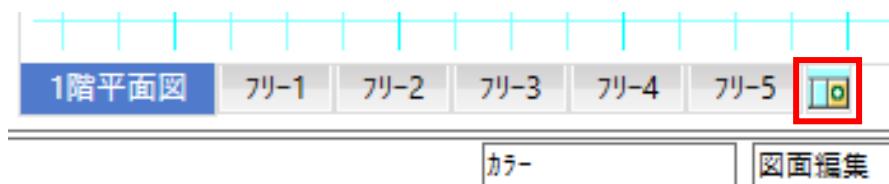


4-2-2. タブに図面を追加

図面編集画面のビューの下側にあるタブに、編集したい図面を追加することができます。

【追加方法】

- ① 図面編集画面を開いてください。
- ② ビューの下側にある以下のタブの赤枠内のアイコンを押下してください。

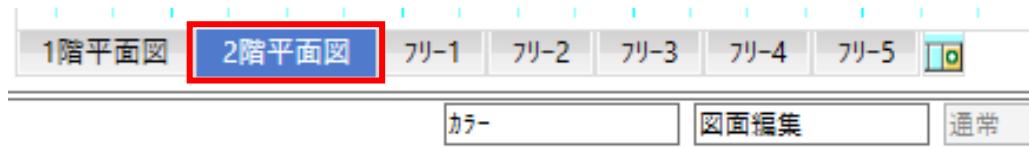


③ 作成した図面の一覧が表示されます。

No	グループ	図面タイプ	図面名称	作成・更新日時
1	意匠図	配置図	配置図	2019/09/12 09:45
2	意匠図	平面図	1階平面図	2019/09/12 11:45
3	意匠図	平面図	2階平面図	2019/09/12 09:45
4	意匠図	平面詳細図	1階平面詳細図	2019/09/12 09:45
5	意匠図	平面詳細図	2階平面詳細図	2019/09/12 09:45
6	設備図	給排水／ガス	1階給排水／ガス設備図	2019/09/12 09:45
7	設備図	給排水／ガス	2階給排水／ガス設備図	2019/09/12 09:45
8	設備図	電気	1階電気設備図	2019/09/12 09:45
9	設備図	電気	2階電気設備図	2019/09/12 09:45
10	設備図	換気	1階換気設備図	2019/09/12 09:45
11	設備図	換気	2階換気設備図	2019/09/12 09:45
12	意匠図	天井伏図	1階天井伏図	2019/09/12 09:45
13	意匠図	天井伏図	2階天井伏図	2019/09/12 09:45
14	意匠図	東立面図	東側立面図	2019/09/12 09:45
15	意匠図	南立面図	南側立面図	2019/09/12 09:45

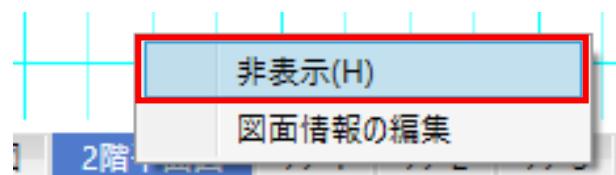
選択図面を開く 閉じる

④ タブに追加したい図面を選択し、「選択図面を開く」ボタンを押下すると、選択した図面がビューに現れ、図面名称がタブに追加されます。



【非表示方法】

- ① 非表示にしたい図面のタブの上でマウスの右ボタンを押下してください。
- ② 「非表示」を押下すると、タブが削除されます。



4-3. 図面レイアウト機能

別アプリケーションであるレイアウトボードに遷移し、設計図書の配置や加筆をすることができます。

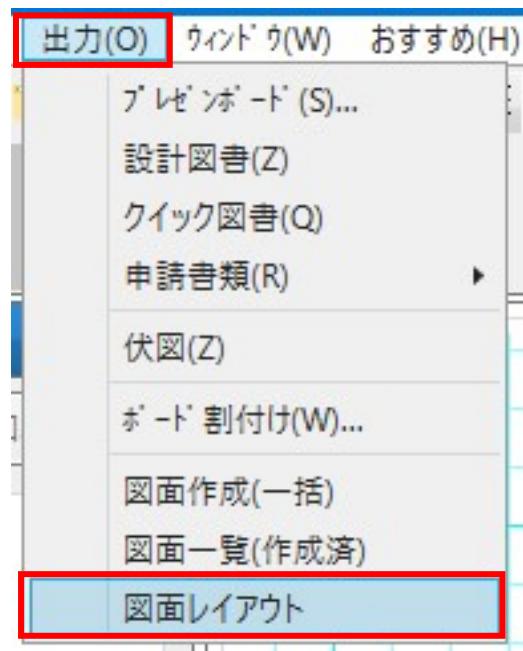
4-3-1. 出力方法・使用例

【出力フロー】

- ① 「出力」タブ
- ② タブ内「図面レイアウト」
- ③ テンプレート選択
- ④ 別アプリケーションで「レイアウトボード」が起動

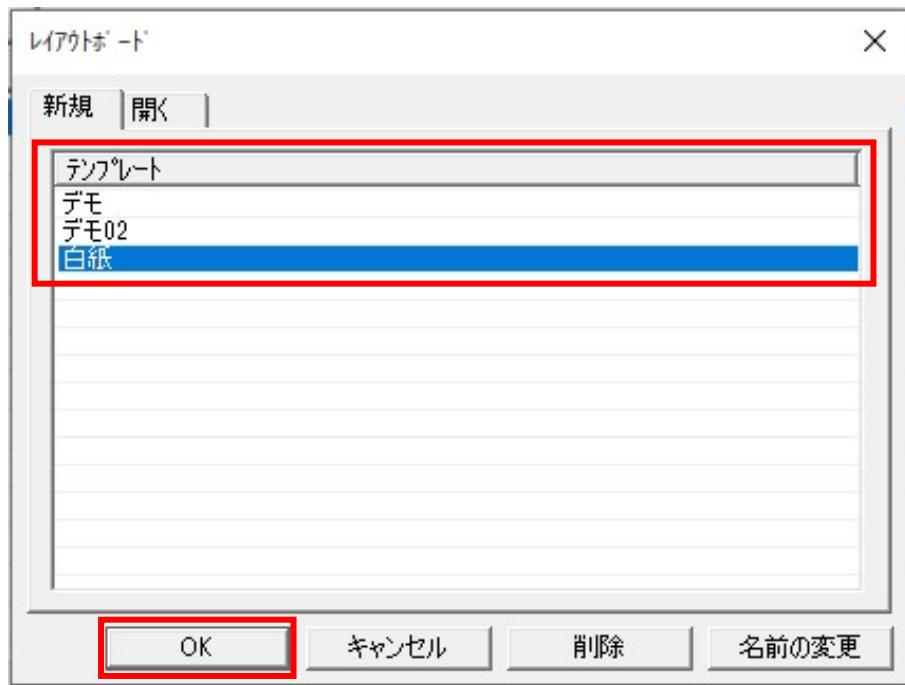


【手順詳細】

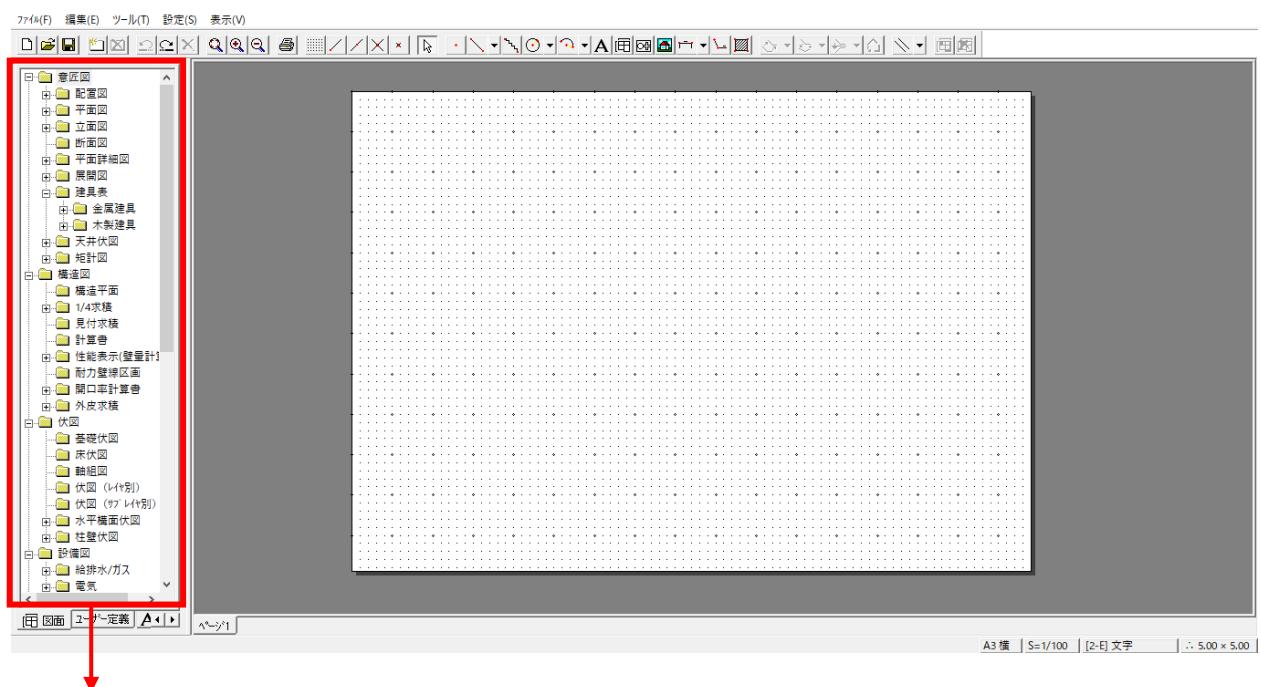


- ① ツールバーにある「出力」タブを開いてください。
- ② 「図面レイアウト」を押下してください。

③ 「レイアウトボード」ウィンドウが表示されたら、テンプレートを選択し、「OK」ボタンを押下してください。



④ ③で選択したテンプレートに則ったレイアウトボードが起動します。



作成した設計図書をレイアウトボードに貼り付けることができます。

4-3-2. Walk in home18 の注記レイヤのコンバート

【設定フロー】

- ① 「物件管理」画面の「設定・管理」タブ
- ② タブ内「システム情報」
- ③ 「システム情報」ウィンドウの「その他」タブ
- ④ 「注記レイヤのコンバート先グループ・レイヤ」の「変更」
- ⑤ 表示されたウィンドウからレイヤを指定

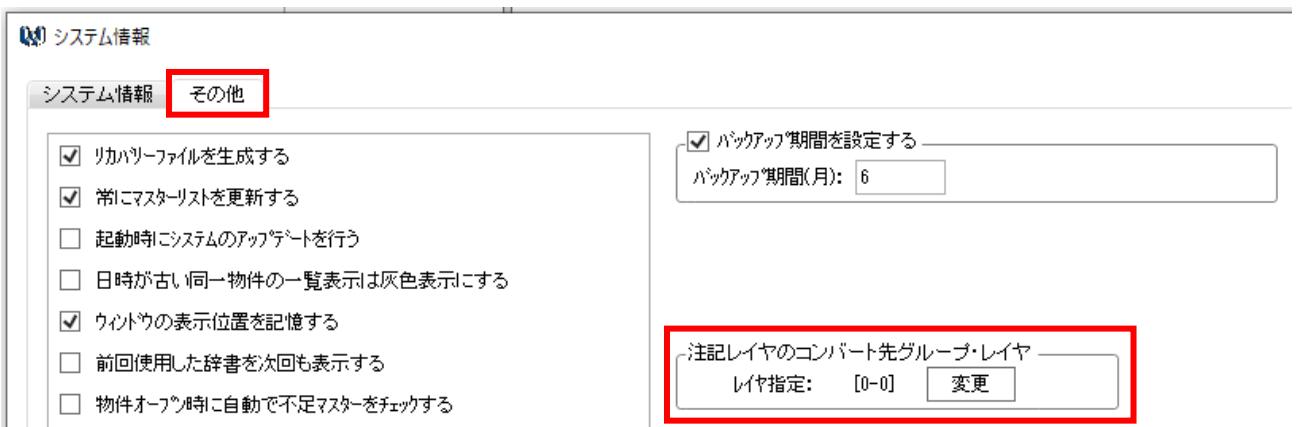


【手順詳細】

- ① 「物件管理」画面のツールバーにある「設定・管理」タブを開いてください。
- ② 「システム情報」を押下してください。



- ③ 「システム情報」の設定ウィンドウが表示されたら、「その他」タブを開いてください。
- ④ 「注記レイヤのコンバート先グループ・レイヤ」の「変更」ボタンを押下してください。



⑤ 「レイヤ設定」ダイアログが表示されるので、レイヤを指定し、「OK」ボタンを押下してください。



5. 図面拡張機能

5-1. 拡張ポップアップ[°]

点	寸法線	寸法結合	寸法分断
線	伸縮	オフセット	文字
文字移動	引出線	ハッチ領域	厚み線分
厚み領域	壁	部分壁	カウンター
間仕切移動	選要素入力	前へ	次へ

ビューにてマウスの右ボタンを長押しすると、左記の拡張ポップアップが表示されます。

以下、拡張ポップアップの表示設定方法と、表示する項目数などのカスタマイズ方法を記載します。

5-1-1. 表示設定方法

【設定フロー】

- 
- ① 「物件管理」画面の「設定・管理」タブ
 - ② タブ内「システム情報」
 - ③ 「システム情報」ウィンドウの「その他」タブ
 - ④ 「拡張ポップアップを使用する」にチェック
 - ⑤ 「OK」押下で設定完了

【手順詳細】

- ① 「物件管理」画面のツールバーにある「設定・管理」タブを開いてください。
- ② 「システム情報」を押下してください。



③ システム情報

The screenshot shows the 'System Information' settings window. The 'Other' tab is selected (highlighted with a red box). A list of checkboxes is displayed, with the 'Expandable Pop-up' checkbox being checked and highlighted with a red box.

設定	状態
リカバリーファイルを生成する	<input checked="" type="checkbox"/>
常にマスターリストを更新する	<input checked="" type="checkbox"/>
起動時にシステムのアップデートを行う	<input type="checkbox"/>
日時が古い同一物件の一覧表示は灰色表示にする	<input type="checkbox"/>
ウインドウの表示位置を記憶する	<input checked="" type="checkbox"/>
前回使用した辞書を次回も表示する	<input type="checkbox"/>
物件オーフン時に自動で不足マスターをチェックする	<input type="checkbox"/>
ズーム操作に両ホットタップを利用する	<input type="checkbox"/>
マウスホイール(上方向)で画面を拡大する	<input type="checkbox"/>
伏図情報・伏図金物情報・基礎伏情報のデータチェックを行う	<input type="checkbox"/>
サムネイルに点景・シンボルを表示する	<input checked="" type="checkbox"/>
要素線データを常に更新する	<input checked="" type="checkbox"/>
拡張スナップモードを使用する	<input checked="" type="checkbox"/>
拡張ポップアップを使用する	<input checked="" type="checkbox"/>
部屋要素を文字/領域線で選択する	<input type="checkbox"/>

- ③ 「システム情報」の設定ウィンドウが表示されたら、「その他」タブを開いてください。
- ④ 「その他」タブ内の「拡張ポップアップを使用する」にチェックを入れてください。
- ⑤ 「システム情報」の設定ウィンドウの右下にある「OK」ボタン押下で、設定完了です。

5-1-2. カスタマイズ方法

【設定フロー】

- 
- ① 「設定」タブ
 - ② タブ内「拡張ポップアップの編集」
 - ③ 表示されたダイアログから編集
 - ④ 「OK」押下で設定完了

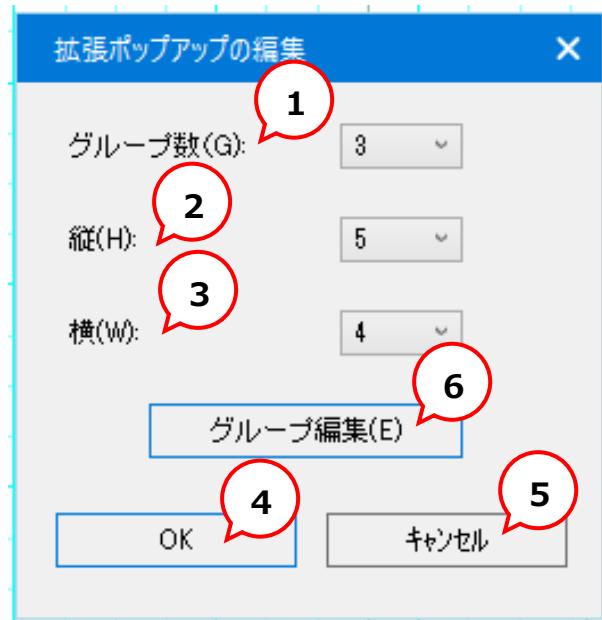
【手順詳細】



The screenshot shows the software's settings menu. The '設定(S)' tab is selected, highlighted with a red box. In the main list, the '拡張ポップアップの編集(C)' option is also highlighted with a red box. To the right of the menu, two steps are described:

- ① 「設定」タブを開いてください。
- ② 「拡張ポップアップの編集」を押下してください。

③ 「拡張ポップアップの編集」ウィンドウが表示されますので、従って編集してください。



【各項目・ボタン説明】

1. グループ数

拡張ポップアップのグループ（ページ）の数です。
1～3で指定できます。

グループについては「グループ編集(E)」ボタンから
変更できます。

2. 縦

拡張ポップアップの縦の項目数です。
1～6を指定できます。

3. 横

拡張ポップアップの横の項目数です。
1～6を指定できます。

4. 「OK」ボタン

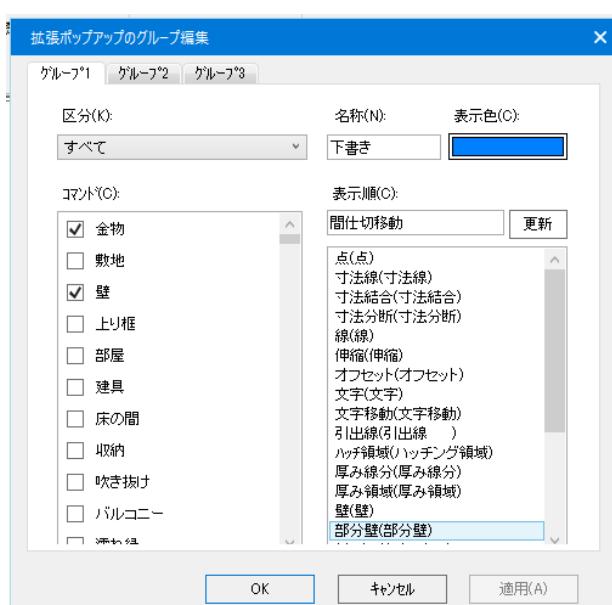
変更内容を保存し、拡張ポップアップに適用します。

5. 「キャンセル」ボタン

変更内容を保存せずに、ウィンドウを閉じます。

6. 「グループ編集」ボタン

押下すると、左記のダイアログが表示されます。
※「カスタムバー編集」と同じ操作方法です。



5-2. 図面編集用の入力ツールバー (注意: アイコン下文字見切れ有)



図面編集画面を開いた際、入力用のツールバーが表示されます。

こちらのツールバーから、図面への下書き加筆や、ファイルの取り込み・変換をすることができます。

5-3. 背景色の選択・グリッド線表示

5-3-1. 背景色の選択方法

図面編集画面とレイアウトボードのビューの背景色「初期設定」「黒」「白」の3種類から選択することができます。

※グリッド線を非表示にしている場合のみ適用されます。

<図面編集画面の場合>

【設定フロー】

- ① 「選択」タブ→「図面編集」
- ② 図面編集画面に遷移
- ③ セレクトボックスから選択後、適用

【手順詳細】



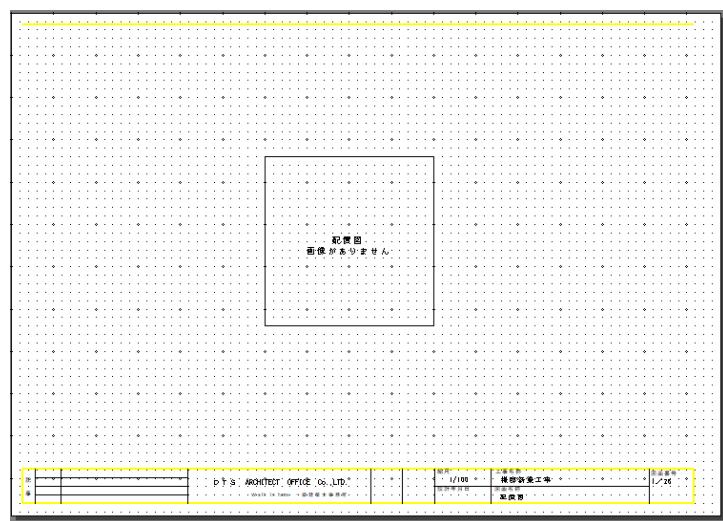
- ① 「選択」タブを開き、「図面編集」を押下してください。

- ② 図面編集画面に遷移します。
- ③ ツールバーの「グリッド」右横のセレクトボックスから「初期設定」「黒」「白」のいずれかを選択すると適用されます。
(注意 : アイコン文字見切れ)

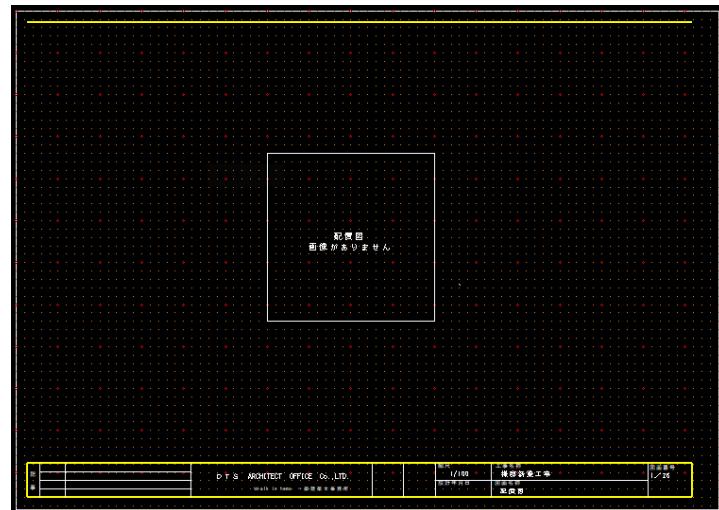


<レイアウトボードの場合>

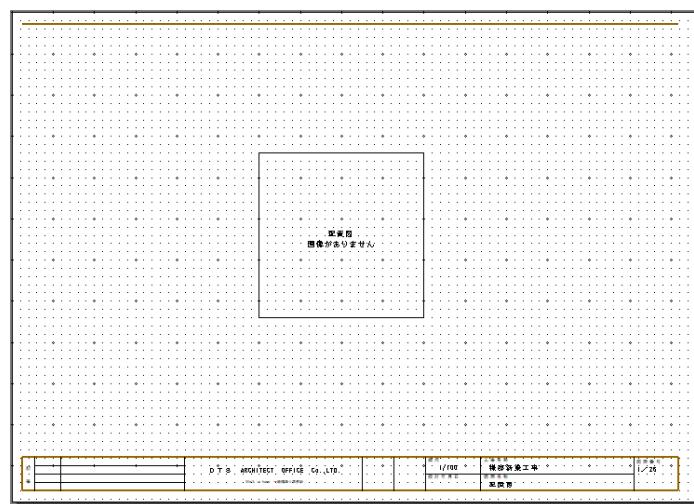
「初期設定」



「黒」



「白」



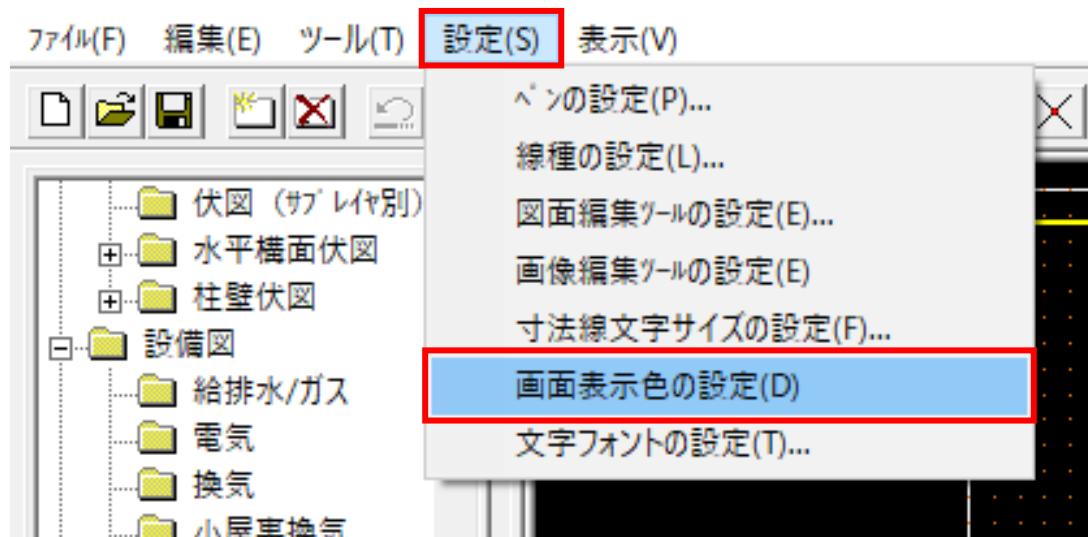
【設定フロー】

- ① 図面編集画面「設定」タブ
② 「画面表示職の設定」
③ 表示されたウィンドウから選択
④ 「OK」で適用

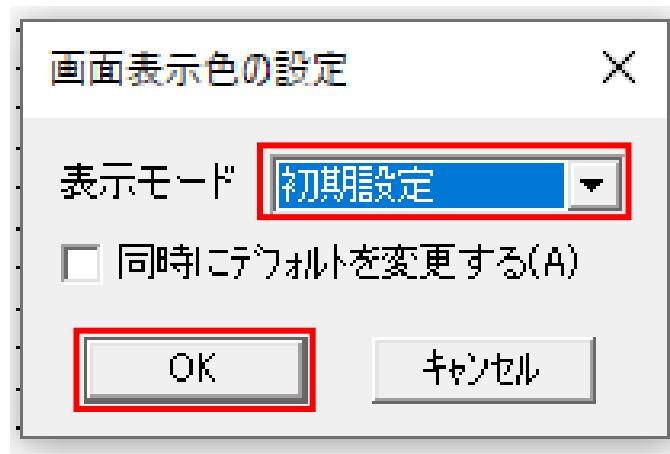


【手順詳細】

- ① 図面編集画面の「設定」タブを開いてください。
- ② 「設定」タブ内の「画面表示色の設定」を押下してください。



- ③ 「画面表示色の設定」ダイアログが表示されますので、「表示モード」をドロップダウンし、3色から選択してください。



- ④ 最後に、「OK」ボタンを押下すると、適用されます。

5-3-2. グリッド線表示・非表示方法

図面編集画面のビューのグリッド線（マス目）の表示有無を切り替えることができます。

【設定フロー】

- ① 「選択」タブ→「図面編集」
- ② 図面編集画面に遷移
- ③ 「グリッド」で変更

【手順詳細】



①「選択」タブを開き、「図面編集」を押下してください。



②図面編集画面に遷移します。

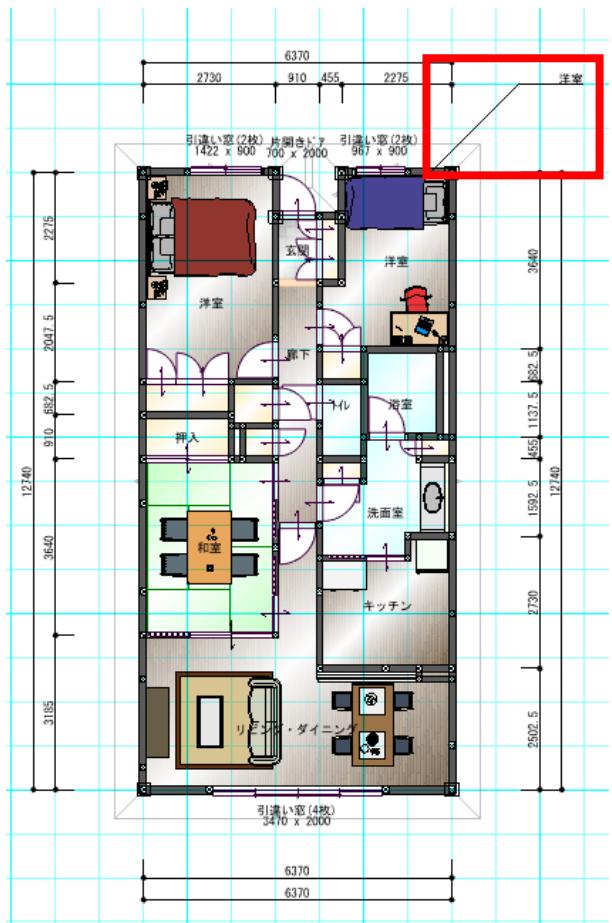
③「グリッド」ボタンを押下すると、グリッド線の表示・非表示を
変更することができます。

5-4. 図面作成（部分）機能

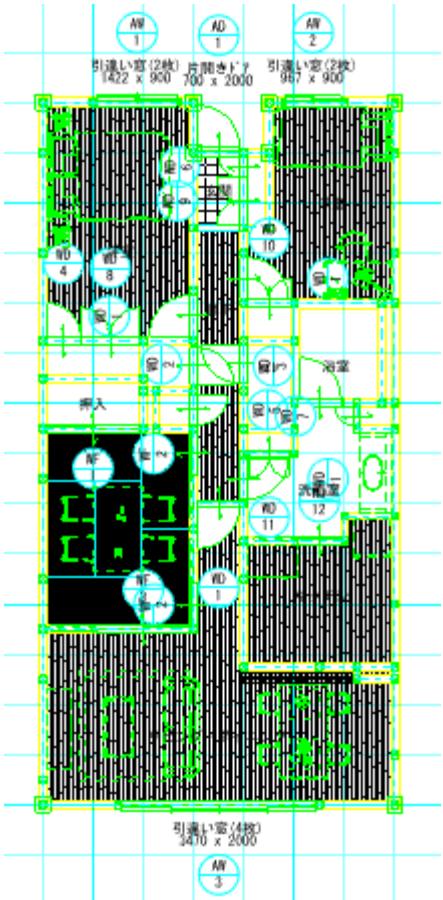
【作成フロー】

- ① CAD に下書きを加筆後、図面一覧から加筆した部分がある図面を開く
※加筆後に図面の一括作成でも可
- ② 「図面編集」タブ
- ③ 「図面作成(部分)」押下
- ④ 指定する領域をドラッグ & ドロップ
- ⑤ 表示されたウインドウの「OK」
- ⑥ 作成完了

【例：1階の間取りに加筆した下書きを1階平面図に反映させる】



- ① 1階の間取りに、赤枠内の下書きを加筆しました。
※寸法線も下書きとして扱われています。



② 加筆した 1 階の間取りの図面（1 階平面図）を開きます。

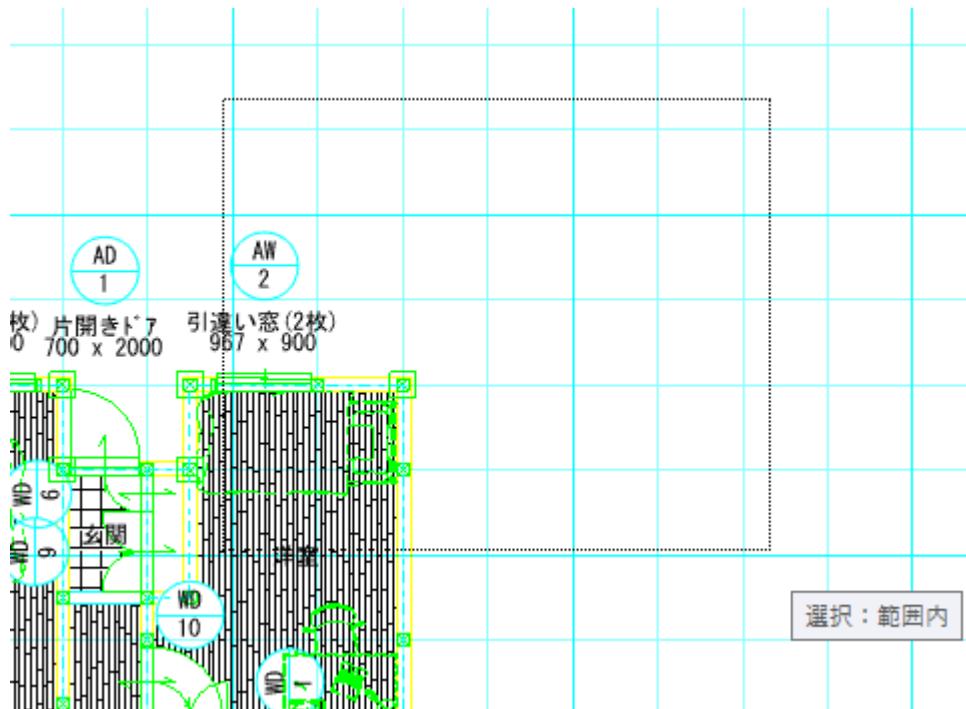
※加筆後に図面の一括作成でも可

左記のように、まだ下書きは反映されていません。

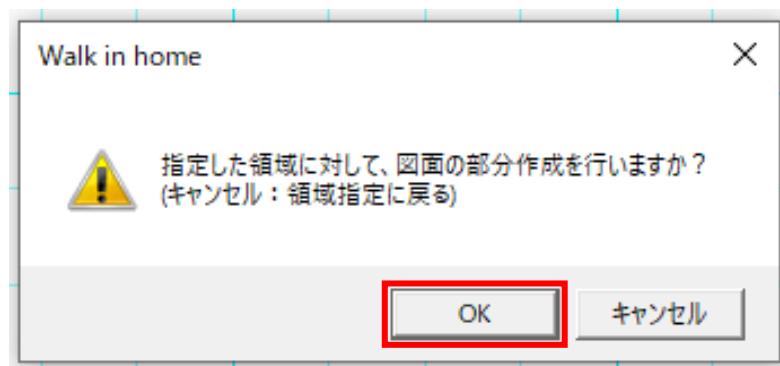
③ 図面に下書きを反映させるために、「図面編集」タブを開き、「図面作成(部分)」を押下します。

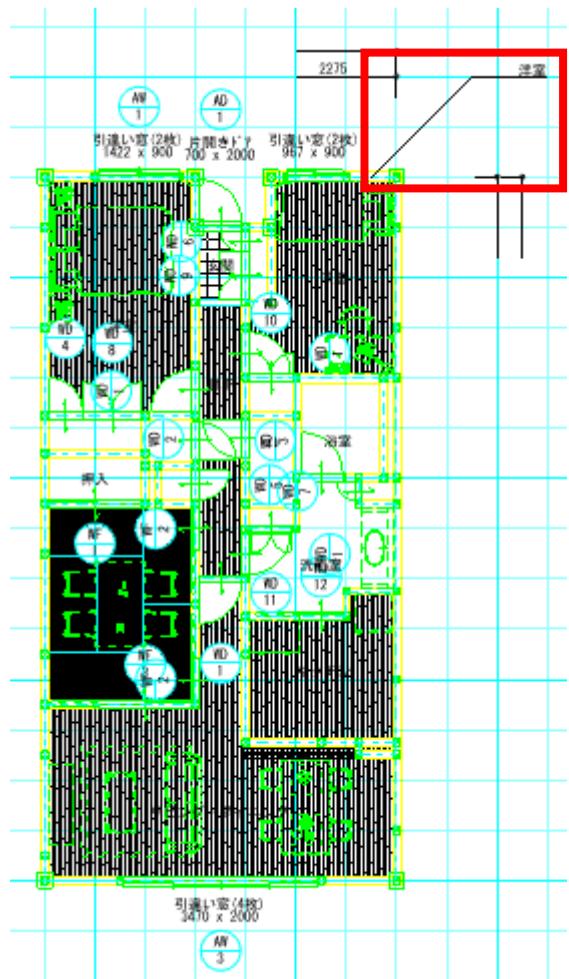


④ 加筆した下書きの範囲をドラッグで指定します。



⑤ ドロップすると、ウインドウが表示されるので、「OK」ボタンを押下します。





⑥ しばらくすると、1階平面図に、①で加筆した下書きが反映されます。